

世界史B 22ヨーロッパ人の海外進出

1.大航海時代

スペイン・ポルトガル王室→()1との直接交易を追求

①ポルトガルのインド航路

エンリケ航海王子(1394~1460)→()2西岸探検。

└バルトロメウ=ディアス (1450~1500)---1488年南端の「嵐の岬」=()3に到達。

└ヴァスコ=ダ=ガマ (1469~1524)---1498年インドの()4に達する=イスラム商人の手引き。

└1510年インド西岸の()5、コロンボを占領。総督を置きアジア貿易の拠点とする。

└1511年()6王国占領→モルッカ諸島=香料諸島に到達。

└1517年広東で貿易開始。1543年種子島へ。1550年()7を対日交易の拠点とする。

└1557年中国()8の居住権を得る。

5~8を4大拠点としてアジアの香辛料、宝石など⇒ヨーロッパへの直航ルート形成

→首都()9はインド、アジア貿易の拠点として繁栄。

②スペインの大西洋航路

└1492年 イベリア半島最南端まで征服。→「レコンキスタ」

()10◆a=1451~1506西回りでインドへ向け出港=女王イザベルの援助

→同年サンサルバドル島=()11諸島」に達する。アメリカ大陸の一部にも。

◆a---ジェノヴァ出身の探検家、コンキスタドール、奴隷商人。フィレンツェ出身のトスカネリ(1397~1482)の地球

[]説(1474)を信じて西回りでアジアに行けると考えた。計4回の航海のうち特に1493年の2回目では

金をもとめてアラワク族など多くの先住民を虐殺した。

└新大陸を()12=ヴェスプッチ(1451~1512)が探検→「アメリカ」の呼称。

└1519年 マガリャンイス=(マゼラン)(1480~1521)→世界周航へ(五艘の船)

→南アメリカ南端()13海峡から太平洋へ→フィリピンで改宗と貢納を拒否し

たイスラムの領主ラプ=ラプ(1491~1541)と戦い、死亡→船一艘が→1522年帰国。

└1521年()14諸島=香料諸島=領有権でポルトガルと争う。

トルデシリャス条約(1494年)とサラゴサ条約(1529年)→「()15子午線」による世界分割

⇒モルッカをポルトガルに売り、アメリカ大陸に集中。

カボット(1451?~98?)---ジェノヴァ人。英王ヘンリー7世の命で1497年北米東岸に到達。

バルボア(1475?~1517)---スペイン人。パナマ地峡を探検し1513年太平洋に到達。

③「征服者」=()16とその後の支配

スペイン→植民者に先住民の支配を委託→()17=委託=制(1502~)

└コルテス(1485~1547)---1521年メキシコ征服=()18王国、マヤ文明

テスココ湖の小島の首都テノチティラン陥落。

└ピサロ(1471~1541)---1533年ペルーの()19帝国征服。首都クスコ入城。

皇帝アタワルパ(~1533)の甥()20(~1572)らは奥地で抵抗を続けた。

スペイン人宣教師()21◆b(1484~1566)

1542年「インディアスの破壊に関する簡潔な報告」でこれら征服者の不正・非道な行いを告発。国王カルロス1(5)世(位1516~56)に征服中止を訴える。

◆b---スペイン、アンダルシアのセビリア出身。カトリック宣教師。一時従軍司祭としてキューバ島征服に参加。その際スペイン人による先住民虐殺を目撃し、キリスト教徒による征服とエンコミエンダ制を厳しく批判するようになる。この訴えによりカルロス1世は「インディアス評議会」を招集し[]保護と[]制の段階的廃止を決定したが、植民地側の抵抗で実現は不完全なものとなる。

その後は()22銀山(1545年発見。中南米三大銀山の一つ)など鉱山の開発

→原住民の強制労働、人口減。人口5千万人→400万人

→労働力としてアフリカから黒人奴隷の輸入→()23=奴隷供給「契約」=による

└メキシコ銀→中国とのマニラ経由の()24=メキシコの港=貿易で莫大な利益

└スペイン領()25が世界貿易の中心として栄える

└スペイン領メキシコ→()26制=「大農場」経営=の展開

└ポルトガル領ブラジルの奴隷制プランテーションの成立

1500年に()27(1460?~1526)◆cが漂着→ポルトガルの植民地化

黒人奴隷投入→奴隷制大農園=単一作物→()28生産

⇒奴隷貿易最大の受け入れ先→西インド諸島・中南米に拡大→人種的身分制社会の形成

└本国人-[]29=植民地うまれの白人

└[]30=白人と先住民との混血=インディオ=先住民

└[]31=白人と黒人の混血=アフリカからの黒人

◆c---第二回インド遠征隊長。「ブラジル木」(Pau-Brasil)を見つけてその地を『ブラジル』と命名。

2.近代世界システムの成立

└世界貿易の中心→地中海から大西洋沿岸の諸国に移る→()32革命

└安価な大量の銀がヨーロッパへ→物価上昇=()33革命

→16世紀のヨーロッパ経済の好況と商工業の発展

└輸出品である()34などの生産がすすみ、西ヨーロッパ諸国の産業が発達

⇒ヨーロッパ=「]35=主導の「世界の一体化」の端緒

└アメリカ・アフリカの伝統社会と文明を破壊⇒「]36に取り込む

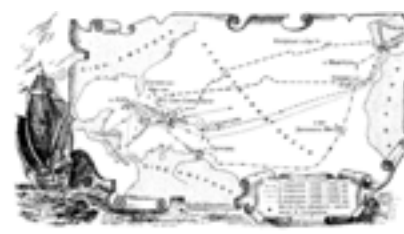
└世界貿易→オランダ・イギリス・フランスも参入

従来の諸地域の商業ネットワーク

⇒「()37主義的世界体制」という世界的な支配・従属の分業体制に再編成

└スペインとポルトガル→一時栄えたが国内産業は発達せず。

└やがて工業生産を発達させたイギリス・()38に競争で敗れる。



コロンブスの航海ルート



植民地分割線=教皇子午線



イスパニョーラ島=現()



コロンブス



ピサロ



トゥパク=アマル



ラス=カサス

- ・平戸 ・教皇 ・砂糖 ・中核 ・商業 ・資本 ・周辺 ・価格 ・喜望峰 ・毛織物 ・ゴア ・アジア
- ・インカ ・ポトシ ・マカオ ・アメリゴ ・アステカ ・マラッカ ・アフリカ ・オランダ ・カブラル
- ・マゼラン ・モルッカ ・リスボン ・西インド ・カリカット ・コロンブス ・アシエント ・アシエンダ
- ・ラス=カサス ・アカプルコ ・アントワープ ・トゥパク=アマル ・コンキスタドール ・エンコミエンダ